

事業報告

第 42 期（平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月 31 日まで）

当財団は平成 25 年 3 月 25 日に東京都知事の認定を受け、平成 25 年 4 月 1 日付で公益財団法人として新たなスタートを切り、5 年が経過しました。

ここに平成 29 年度の事業活動を報告します。

今期の金融市場は株価等の回復が見られ特定資産配当金収入は増えてきましたが、基本財産配当金収入が減少したこともあり、経常収益は予算額と前年度実績を共に下回る 33 百万円となりました。しかしながら最終的には投資資産の評価益と売却益の合計が 90 百万円となったため、正味財産期末残高は 1,366 百万円と期首に比べて 77 百万円の増額となりました。

I. 公益目的事業 総額 38,076,856 円

より良い社会の建設に資することを目的に、前途有望な学生・生徒に対する奨学金の給与並びに社会福祉及び芸術文化の分野における助成を行いました。

1. 育英事業への助成 合計 26,035,000 円

(1) 奨学金

学術優秀で修学困難な学生、生徒に対する奨学金の給与を行いました。

採用後、以下大学生、短大生（専門学校含む）、高等学校生（高専含む）の奨学生に対しては、2 回／年の奨学金支給時期に面談し指導を行いました。

61 名 14,960,000 円

対象	①大学生	年額	36 万円／人
	②短大生（専門学校含む）	年額	24 万円／人
	③高等学校生（高専含む）	年額	18 万円／人又は 9 万円／人
	④東京日本語教育センター在校生	年額	10 万円／人

(2) 理工系大学院生特別奨学金

理工系大学院生に対する奨学金の給与を行いました。

採用後、11 月と 3 月に報告会を実施しその際指導も行いました。

上智大学	2 名
電気通信大学	2 名
東京理科大学	3 名

7 名 10,800,000 円

対象 本財団が指定する東京都内の大学院の理科学系の博士前期課程（修士課程）又は後期課程（博士課程）の学生等。

年額 180 万円／人

(3) 育英事業費助成金 275,000 円

2. 社会福祉事業への助成 合計 7,561,603円

(1) 社会福祉事業助成金（心身障害者・老人及び児童福祉事業等を支援）

主に東京都福祉保健局、東京都社会福祉協議会・東京ボランティア市民活動センター、東京都手をつなぐ育成会（東京都知的障害者育成会より名称変更）等より推薦され、申請してきた27の団体・施設や品川区社会福祉協議会（介護用紙おむつ支給事業）等へ助成を行いました。

7,261,603円

対象 障害者（就労支援・生活介護等）、老人（地域とのつながり支援等）、児童（自立支援・家族滞在施設等）、一般社会（シェルター事業等）等。

(2) 福祉手当 3名 300,000円

3. 伝統芸能事業への助成 合計 2,654,600円

芸術文化に対する助成として、特に能・狂言・邦楽（主として古曲）等の伝統芸能の振興を目的とした事業へ助成・寄付等を行いました。

4. その他経費（給料手当） 合計 1,825,653円

II. その他事業 総額 5,305,311円

学生論文「昭和池田賞」

第36回学生論文「昭和池田賞」は42編の応募があり、審査の結果、優秀賞2編、特別努力賞2編が選ばれました。入選者の贈賞式は平成29年7月13日に東京で行いました。

なお、選にもれたそれ以外の適格応募者には努力賞として記念品を贈呈しました。

優 秀 賞 （賞金20万円と当財団規定の奨学金） 2名

藤田 このむ氏 （神戸大学農学部3年）

ノルド絵莉華カーシャ氏 （昭和女子大学人間文化学部2年）

特別努力賞 （賞金10万円） 2名

佐野 英志氏 （東京大学大学院総合文化研究科 博士課程 3年）

河邊 侑香里氏 （信州大学繊維学部 3年）

以上